

元禄文化—美術

元禄美術は安土・桃山時代の伝統を引く生動感と、以後顕著となる繊細な感覚の両面をもつ、匂やか美を達成した。文学に対して、絵画では東漸の動きが強まり、菱川師宣が江戸で浮世絵の版画を流行させた。ただし、京都の画壇的位置もなお保たれ、京都の商人出身の尾形光琳は、固まった絵画伝統にあらたな展開を図った。

○元禄美術

●絵画

狩野派は技術水準の維持に固執し、急速に創造性を枯渇させていった。

→伝統的な大和絵系統の土佐派、その分脈の住吉派が活躍した。

⇒しかし、土佐派・住吉派も伝統の素直な継承に傾きがちであった。

(1) _____ が(2) _____ の装飾的画法を取り入れて琳派を興した。



図1 『洛中洛外図巻』

<土佐派>

(3) _____ …土佐派からの輩出が途絶えていた朝廷所属の絵師長に就任し、停滞していた土佐派を復興



図2 『紅白梅図屏風』

<住吉派>

(4) _____ …土佐派出身だが、勅命で「住吉」と改称した住吉派の開祖住吉具慶…(4)の子で、狩野派が占める幕府の御用絵師に参入
…代表作は『洛中洛外図巻』



図3 『燕子花図屏風』

<琳派>

(5) _____ …代表作は『紅白梅図屏風』『燕子花図屏風』



図4 『見返り美人図』

●浮世絵と版画

安房出身の(6) _____ が庶民的風俗画(7) _____ とその版画を創始した。

⇒美人・役者を画題にし、代表作は肉筆の(7)の『(8) _____』である。

●工芸品

(9) _____ …上絵付法をもとに色絵を完成させ、(10) _____ を大成

(11) _____ …本阿弥光悦の蒔絵の技術を継承・発展

…『(12) _____』に得意の燕子花図の意匠を集約

(13) _____ …光琳の弟で、京焼の陶法を仁清に学び、高雅な作品を創造

●染物

(14) _____ …友禅染を創始し、絵画のような自由度の高い図様を表現



図5 『色絵藤花文茶壺』



図6 『八橋蒔絵螺鈿硯箱』



図7 『色絵紅葉文透彫反鉢』



図8 友禅染の振袖